

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2023年ワールドアスレティック規則並びに日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
 - (2) 競技者招集について
 - a 招集所は、本競技場 100m スタート付近第4ゲート脇の地下通路に設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より第4ゲート付近に掲示する。（招集開始時刻までには、招集所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - e 棒高跳の競技者は「支柱移動申込用紙」（招集所に置いてある）を棒高跳競技役員に提出すること。
 - f 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - g 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目以降は混成控室にて点呼後（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、大会運営室1に設ける。
 - (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。
 - c 1500m以上のレースについては、大会本部が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。
 - d 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す大会本部が用意するアスリートビブス（胸のみ）を使用する。
 - (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則162条の規定通りとする。
 - (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
 - (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第143条TR5に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
- ※日本陸連競技規則に準ずる。

(7) 組・走路順および試技順について

- a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
- b トラック競技における決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。

(8) リレー競技について

- a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- b リレーに出場するチームは、同系統のユニフォームを着用すること。

(9) 跳躍競技のバーの上げ方について

下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。

1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m70 1m90	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 以後3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m40 1m60	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m10 1m30	1m15 1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 1m35 1m38 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m50 4m00	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 以後10cm
	女子	練習 2m30 2m70	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 以後10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする ※ 棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(11) 助力について

主催者が指定したコーチングエリア以外での助言等は禁止する。ビデオ等による助言は認めるが、その際、手渡しや競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、スマートフォンや携帯電話もしくは類似の通信機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。

(12) 競技用具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、2本以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。棒高跳のポールの配送については取り扱わない。

(13) イエローカード (以下、YC) について

- a WA競技規則CR18.5の規定により、TR 6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- b 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

2 表彰について

各種目とも8位入賞者を表彰する。

各種目とも8位までの入賞者は競技役員の指示に従い、入賞者控所に移動すること。

3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。
- (2) 集団応援等はサイド、バックスタンドで行うこと。その際フィールド競技に支障が無いようにする。フィールド競技については競技進行上、トップ8決定まで手拍子応援を求めない。
- (3) 横断幕・のぼり旗などの応援布はサイドスタンド・バックスタンド中段より上の手すりのみ許可する。

4 応急処置について

大会期間中の事故については本競技場医務室にて応急処置のみ行う。怪我等への対応のみとし、発熱等内科的処置は行わない。

5 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に遵守すること。規定外の見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路(大会運営室側)は、競技者の通行ができない。競技終了後は第1・4ゲートおよび地下通路より競技場外へ出ること。
- (4) 本競技場の開場について
10月27日(金)は10時15分、28日(土)・29日(日)は7時00分とする。
- (5) 学校受付は、デンカビッグスワンスタジアム正面入口にて下記の時刻で行う。
10月27日(金) 10:00～17:00
10月28日(土)～29日(日) 8:00～17:00
- (6) 写真・ビデオ等の撮影については受付で撮影許可を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。